

第19回年次大会（鹿児島）と新役員

会長 森 孝晴

今年の大会は久しぶりに鹿児島での開催となりました。私が会長になって初めて地元で行う大会ということになりましたが、国立大学で開くのも初めてで、6月18日土曜日に鹿児島大学の教育学部キャンパスにおいて開催されました。歴史のある広々したキャンパスをお借りできたことに対し、まずは私の長年の友人で、懇親会を含めて会場校の全てをお世話くださった鹿児島大学教授坂本育生氏に深く感謝したいと思います。

あいにく一日中雨が降り出席者の数が心配されましたが、東京、名古屋、京都、熊本などからの参加を含め40人の方々が参加して盛会となりました。大会後の懇親会にも半数の方々が参加され、地元の英語英文学者などから「いい会ですねえ」との声をいくつもいただいたのは感激でした。

今回の大会では、研究発表が2本と講演が1件行われました。研究発表は院生によるフレッシュな発表と鹿児島大会に合わせた私の鹿児島ネタでした。講演は大先輩の我が名誉会長にお出ましましたので、全体としてバランスのとれた内容ではなかったかと思ひますし、フロアの強い関心を引きました。研究発表や講演をしていただいた鹿児島国際大学大学院生小岩井康雅君と辻井栄滋氏にこの場を借りてお礼申し上げます。

今回の大会で運営委員の交代がありました。会誌の編集担当をいただいていた星野妙子さんと会計を担当していただいていた鎌田京子さんが退任され、新たに編集担当運営委員として芳川敏博さんが、また会計担当運営委員として嘉数進さんが就任されました。星野さんと鎌田さんには長年のご尽力に心よりお礼申し上げたいと存じます。芳川さんと嘉数さんには、色々お手数をおかけしますがどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

来年の大会は節目の第20回大会です。協会誕生地京都での開催を予定しております。記念のプログラムも検討してまいりますし、論文集も発行予定ですので御期待下さい。大会も20回近くを数えるところまで来ていて、協会を立ち上げた者としては感慨深いものがあります。しかし厳しい世の中にあつては感慨にふけてばかりもられません。心を引き締めて頑張つてまいりますので、引き続きご支援ください。(2011/08/23)